

全国から支援者ら200人が参加 「JALは解雇争議の全面解決を！」 と羽田空港で訴え

1985年8月12日、羽田発大阪行き123便が御巣鷹山に墜落し、乗客・乗員520名の尊い命が失われた日航ジャンボ機墜落事故から41年を迎える前日の8月11日、JAL被解雇者労働組合（JHU）とJAL争議支援全国ネットワークによるスタンディング行動が、羽田空港第1ターミナル到着ロビー前で取り組まれた。

当日はお盆の帰省や旅行者で羽田空港が大勢の利用者で賑わうなか、正午から約1時間にわたって行動を展開した。全国各地から争議解決を支援する仲間が駆けつけ、全国港湾からの参加者を含め約200人が結集。スタンディング行動の会場となった到着ロビー前はJAL解雇争議の全面解決を求める参加者が「JALは都労委命令に従い、解雇後の人員数を開示せよ！」「JALは解雇争議を全面解決せよ！」「JALは解雇争議を全面解決せよ！」などの横断幕やプラカードを掲げ、空港を利用する多くの人たちに向けて、JALによる不当解雇問題と争議の早期解決を力強く訴えた。



また、JAL解雇争議を決定して当事者だけの問題にせず、労働者の雇用と権利を守るたたかいとして、幅広い仲間が連帯していることを改めて実感する行動となった。

行動の最後には、当該労働組合から「納得のいく解決に向けて、都労委命令を履行させるためにも、JAL不当解雇撤回100万人署名をさらに大きく広げ、運動を強めていく」と決意が表明された。そして、参加者全員で「がんばろう」を力強く

この六月にこの齢になって初めて歌舞伎を観劇した。平日に上演する夜ノ部の様な気もする。かつて、かがり火が灯る場で「能」を観たことがあったが、雰囲気はあったものの、解説書があっても、さっぱり理解できなかった覚えがある。そのため、オペラハウス（双眼鏡）を買い、音声ガイドを五百円で借り、観劇に備えて席についたが、めっちゃ狭い！さほど大きくない身体だが前席に膝がぶつかる狭さである。見回すと外国人観光客と思しき人たちが沢山来ている。眼下にはゆったりした席も

リレー随筆 初歌舞伎

三階席は二万円・三万円掛かることからすれば、当然の様な気もする。かつて、かがり火が灯る場で「能」を観たことがあったが、雰囲気はあったものの、解説書があっても、さっぱり理解できなかった覚えがある。そのため、オペラハウス（双眼鏡）を買い、音声ガイドを五百円で借り、観劇に備えて席についたが、めっちゃ狭い！さほど大きくない身体だが前席に膝がぶつかる狭さである。見回すと外国人観光客と思しき人たちが沢山来ている。眼下にはゆったりした席も



首が動き出すコミカルな場面の演出もある。さりとて、タブレットの貸出で解説付きとはいえ、このシニールで陰惨な美学が外国人観光客にも受け入れられるか、客にも受け入れられるか、理解されるかは不明で気になるところでもある。屋敷部は子連れ狼とあったが、TVで親しんできた演目やアニメ原作演目も。伝統文化でありながら大衆文化の感がある。劇中の「〇〇屋！」屋号の掛け声は「大向う」と云うらしいが、役者家系の関係者が絶妙なタイミングで叫んでいるため、一般客が勝手に声掛けするのとは法度とされている。一幕見席に戻るが、歌舞伎役者の見せ場である花

道は、残念ながら四階席からは拝めない。舞台上に出切った役者は観えるが、それも裸眼ではどの役者か判別しづらい。そのため、オペラグラスや双眼鏡は必須アイテムで、必ず携帯しておいたほうがいい。歌舞伎初心者が本物を堪能し、母国文化に触れるには最適な入り口かもしれない。

本格的な夏を迎え、気温や湿度の高い日が続いています。熱中症は屋外だけでなく、屋内や休憩中にも発症する危険があり、誰にでも起こり得る身近な健康障害です。特に港湾・物流現場では、高温下での作業や重量物の取り扱いなど、体への負担が大きくなるため、一人ひとりが熱中症予防を意識することが重要です。



『少しおかし』と感じたら、涼しい場所へ移動し、水分・塩分を補給してください。意識がもうろうとしている、自力で水分が摂れないなどの症状がある場合は、ためらわず救急要請を行いましょう。

こくみん共済COOP

酷暑に注意！

「港湾を兵站基地にするな！」
「港湾労働者と戦争を考える」
2026年版防衛白書公表
我々港湾労働者が更なる危険な事態へ！

2026年版防衛白書が公表されました。防衛白書の詳細については関係資料を参照願いたいわけですが、軍事産業の強化として更なる能動的な成長投資を行うとあります。

加えて、「非核三原則」の表現変更が行われ、これは、これまでの「非核三原則」は国是・堅持としてきた国会決議から、「国是」という表現は残しつつも、「非核三原則を政策上の方針として堅持しつつ」としました。このことは明

らかにこれまでの国会決議を大幅に変更、或いは廃止に向けた「序章」と位置付けるべきと考えられます。

このままでは日米同盟上「非核三原則」は邪魔だという解釈にもなりえます。このように世界唯一の被爆国として到底、ありえない政策が次から次へと行われ

我々、全国港湾は26年度運動方針案のなかで、(1)26春闘協定に基づき、特定利用港湾による港湾運送事業を阻害することのないよう関係行政に求めていく。

(2)とりわけ、政府の敵基地攻撃能力の保有を認め、たことによる港湾への「攻撃兵器の設置」を認めないことを強く迫っていく。また、武器・弾薬荷役を商港にお願いしないことを前に提し、自衛隊の物資(車輛・自衛艦の生活物資など)を積載する本船の寄港については、事前協議として措置するよう取り組む。としています。

我々、全国港湾としてこの26年度運動方針(案)について更なる審議と今後の運動の在り方が大きく問われています。この異常事態・最悪の事態を迎えようとしている我々港湾労働者の生命と根本的安全の確保に向けた更なる取り組みを共に考え、大きな「うねり」をつくっていかねばなりません。どうか、仲間の皆様から様々な意見を賜りつつ、この事態克服に向けた運動を共に邁進していかねばなりません。

(全国港湾委員長 竹内 一)

各単組定期大会日程			
単組名	日程	名称	開催場所
全港湾	9月9日(水)～9月10日(木)	第97回定期全国大会	群馬県 ホテル磯部ガーデン
日港労連	9月9日(水)～9月10日(木)	第74回定期大会	新潟県 アートホテル新潟駅前
検数労連	9月9日(水)～9月10日(木)	第58回定期全国大会	豊橋市 ホテルシーパレスリゾート
検定労連	9月28日(月)～9月30日(水)	第54回定期大会	豊橋市 ホテルシーパレスリゾート
大港労組	10月2日(金)	第74回定期大会	大阪市 港湾労働者福祉センター
全倉運	9月7日(月)～9月8日(火)	第81回定期大会	豊橋市 ホテルシーパレスリゾート